



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野寺 香一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 貴雄 TEL 03-3269-5111
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第2四半期 | 10,983 | △6.4 | 483 | △24.2 | 600 | △20.6 | 447 | △15.6 |
| 2023年3月期第2四半期 | 11,734 | 8.2 | 638 | △14.0 | 756 | △8.6 | 530 | △8.1 |

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,019百万円 (104.6%) 2023年3月期第2四半期 498百万円 (△29.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 2024年3月期第2四半期 | 円 銭 100.80 | 円 銭 - |
| 2023年3月期第2四半期 | 円 銭 119.41 | 円 銭 - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期第2四半期 | 31,718 | 22,184 | 67.4 | 4,817.69 |
| 2023年3月期 | 30,351 | 21,256 | 67.5 | 4,614.07 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 21,390百万円 2023年3月期 20,486百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | - | 20.00 | - | 20.00 | 40.00 |
| 2024年3月期 | - | 20.00 | - | - | - |
| 2024年3月期（予想） | - | - | - | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 23,800 | 6.8 | 950 | △14.8 | 1,130 | △16.3 | 770 | △18.8 | 173.42 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年3月期2Q | 4,450,000株 | 2023年3月期 | 4,450,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期2Q | 9,961株 | 2023年3月期 | 9,961株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年3月期2Q | 4,440,039株 | 2023年3月期2Q | 4,440,039株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (追加情報) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)における我が国経済は、4～6月期は感染懸念の後退、供給制約の緩和やインバウンド需要の回復等を受けてプラス成長となりましたが、7～9月期は物価高の影響で非耐久財を中心に財消費が弱含んでいるほか、これまで消費回復をけん引してきたサービス消費の伸びも鈍化するなどマイナス要因が散見されます。

鉱工業生産指数については、4月以降は部材供給不足の影響が緩和されたことなどをを受けて上昇基調でしたが、7月以降は生産用機械工業の受注減少や自動車工業の工場稼働停止などの影響を受け低下しましたが、9月に入り多くの業種で上昇したものの、均してみると先行きは不透明で、鉱工業生産の9月の基調判断は「一進一退」の状況とされています。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売ですが、主力のクラフト紙袋については第1四半期よりも売上数量の減少幅は緩和されましたが、想定していたほどには需要が回復しておりません。また、エネルギー価格や人件費の上昇等に伴うコスト上昇圧力が弱まらず不透明な状況が続いております。その結果、連結売上高は10,983百万円で前年同期に比して750百万円の減収でした。原材料やエネルギー価格などの高騰による原価率上昇の抑制を行いました。営業利益483百万円(前年同期比154百万円の減益)、経常利益600百万円(同155百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益447百万円(同82百万円の減益)となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

○重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋の業界全体の当第2四半期連結累計期間出荷数量(ゴミ袋を除く)は、前年同期を5.9%下回りました。農水産物、プラスチック、製粉用途は増加しましたが、米麦、化学薬品、合成樹脂、セメント用途が大幅に減少しました。重包装袋の主原材料であるクラフト紙の価格は、前年、原燃料費の急騰など、コスト高を理由とし上昇した状態のまま高止まりしています。

当社の売上数量は前年同期比8.9%減少しました。当社のシェア率の高い合成樹脂、化学薬品用途の需要回復の遅れが響き、業界全体より高い減少率となりました。

子会社の九州紙工㈱は米麦袋、一般袋ともに減少し売上数量は前年同期から8.5%減少しました。タイ昭和パックス㈱の当第2四半期連結累計期間(1～6月)は、主要顧客の減産、在庫調整の影響により、売上数量は前年同期と比べ13.0%の減少となりました。山陰製袋工業㈱の当第2四半期連結累計期間(1～6月)は、米麦袋は増加しましたが、主力の両底貼袋が減少し、売上数量は前年同期比7.8%の減少となりました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は6,980百万円で前年同期に対し0.2%の増収となりました。

○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第2四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期から産業用、農業用ともに減少し、全体では6.4%減少しました。主原材料であるポリエチレン樹脂の価格は一旦落ち着いていましたが、ナフサ価格、エネルギーコスト、物流費など諸経費の上昇により再び値上がり基調となっています。

当社の売上数量は前年の価格改定前の駆け込み需要の反動や物価高騰を背景とした買い控えの影響もあり、産業用、農業用とも前期比マイナス、合計では12.5%の減少となりました。産業用では「一般広幅フィルム」、熱収縮フィルム「エスタイト」、農業用ではハウスフィルム「バーナルハウス」、「農サクビ」が大きく減少しました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は1,868百万円で前年同期に対して8.1%の減収となりました。

○コンテナ

フレキシブルコンテナの、業界の出荷量は、国内生産品と海外生産品を合わせると、食品、飼料の用途が増加、化学工業品、合成樹脂、除染用の用途が減少しました。全体では前年同期から減少となりました。海外からの輸入手量も前年から僅かに減少しています。

当社のフレキシブルコンテナ「エルコン」の売上数量は、前年同期比15.4%の減少でした。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」は前年同期比5.0%の増加、液体輸送用1,000ポリエチレンバッグ「エスキューブ」、液体輸送用コンテナライナー「エスタック」も増加しました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は1,300百万円で前年同期に対して4.1%の増収となりました。

○不動産賃貸

前連結会計年度に賃貸契約の一部解約がありました。当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は111百万円で、前年同期から15百万円の減収でした。

(2) 財政状態に関する説明

1) 資産、負債、純資産の状況

(資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末総資産は31,718百万円で、前連結会計年度末に比べて1,366百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金274百万円、受取手形及び売掛金474百万円、電子記録債権103百万円、棚卸資産153百万円および投資有価証券431百万円です。

(負債)

負債合計は9,533百万円で、前連結会計年度末に比べて438百万円増加しました。主な増加要因は支払手形及び買掛金492百万円、その他の流動負債143百万円および繰延税金負債123百万円です。主な減少要因は電子記録債務147百万円および営業外電子記録債務159百万円です。

(純資産)

純資産合計は22,184百万円で、前連結会計年度末に比べて927百万円増加しました。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益447百万円、その他有価証券評価差額金289百万円および為替換算調整勘定271百万円です。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて245百万円増加して7,972百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は638百万円（前年同期比39百万円の収入減）となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純利益602百万円、減価償却費310百万円、売上債権の増加△619百万円、仕入債務の増加317百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は422百万円（同171百万円の支出増）となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出337百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は109百万円（同5百万円の支出増）です。主に配当金の支払による支出88百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べると減収減益の結果となりました。第1四半期に引き続き販売数量の減少や設備投資の償却費、高止まりする諸経費や偶発的な損失などの費用負担の増加が減益の主要因です。第3四半期以降は引き続き販売数量の伸長と諸経費の抑制に努めてまいります。当連結会計年度（2023年4月1日～2024年3月31日）通期の業績見通しにつきましては、現状では当初の予想（2023年5月11日発表）を変更せず、連結売上高23,800百万円、連結経常利益1,130百万円、親会社株主に帰属する当期純利益770百万円を見込みます。

なお、連結子会社である㈱ネスコにおいて、同社の取引先に対する債権につき期日が経過しても売掛金が入金されない事態となり、取立不能又は取立遅延のおそれが生じております。詳細は添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（追加情報）」をご覧ください。今後の回収状況により貸倒引当金の計上などが必要となり業績予想に影響を与えるような場合は速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,152,838 | 8,427,625 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,147,755 | 6,622,146 |
| 電子記録債権 | 806,126 | 909,241 |
| 商品及び製品 | 1,237,180 | 1,384,556 |
| 仕掛品 | 129,104 | 143,156 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,265,689 | 1,258,189 |
| その他 | 304,741 | 253,263 |
| 貸倒引当金 | △13,172 | △12,252 |
| 流動資産合計 | 18,030,264 | 18,985,926 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 8,868,373 | 8,886,982 |
| 減価償却累計額 | △6,418,236 | △6,449,607 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,450,137 | 2,437,374 |
| 機械装置及び運搬具 | 10,815,227 | 10,992,288 |
| 減価償却累計額 | △9,486,303 | △9,748,715 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,328,924 | 1,243,573 |
| 土地 | 918,553 | 931,699 |
| 建設仮勘定 | 393,194 | 440,961 |
| その他 | 876,065 | 891,558 |
| 減価償却累計額 | △801,200 | △820,336 |
| その他(純額) | 74,864 | 71,221 |
| 有形固定資産合計 | 5,165,674 | 5,124,830 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 261,551 | 292,078 |
| 無形固定資産合計 | 261,551 | 292,078 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,948,696 | 6,379,769 |
| 退職給付に係る資産 | 772,970 | 778,342 |
| 繰延税金資産 | 57,209 | 58,581 |
| その他 | 123,071 | 175,296 |
| 貸倒引当金 | △7,660 | △76,571 |
| 投資その他の資産合計 | 6,894,287 | 7,315,419 |
| 固定資産合計 | 12,321,514 | 12,732,328 |
| 資産合計 | 30,351,778 | 31,718,254 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,087,323 | 3,579,634 |
| 電子記録債務 | 1,512,154 | 1,365,149 |
| 短期借入金 | 1,287,334 | 1,274,338 |
| 未払法人税等 | 124,691 | 202,922 |
| 賞与引当金 | 360,907 | 368,525 |
| 役員賞与引当金 | 8,060 | - |
| 設備関係支払手形 | 2,785 | 9,917 |
| 営業外電子記録債務 | 219,993 | 60,097 |
| その他 | 619,410 | 762,512 |
| 流動負債合計 | 7,222,661 | 7,623,097 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 1,385,073 | 1,508,785 |
| 役員退職慰労引当金 | 123,352 | 51,880 |
| 退職給付に係る負債 | 217,119 | 206,353 |
| 資産除去債務 | 4,411 | 4,411 |
| 長期預り保証金 | 133,330 | 131,662 |
| その他 | 8,848 | 7,433 |
| 固定負債合計 | 1,872,135 | 1,910,526 |
| 負債合計 | 9,094,796 | 9,533,623 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 640,500 | 640,500 |
| 資本剰余金 | 289,846 | 289,846 |
| 利益剰余金 | 16,051,917 | 16,410,681 |
| 自己株式 | △9,441 | △9,441 |
| 株主資本合計 | 16,972,822 | 17,331,587 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,716,937 | 3,006,599 |
| 為替換算調整勘定 | 507,348 | 779,140 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 289,563 | 273,400 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,513,849 | 4,059,140 |
| 非支配株主持分 | 770,310 | 793,903 |
| 純資産合計 | 21,256,982 | 22,184,631 |
| 負債純資産合計 | 30,351,778 | 31,718,254 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 11,734,768 | 10,983,958 |
| 売上原価 | 9,777,409 | 9,134,977 |
| 売上総利益 | 1,957,359 | 1,848,980 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,319,087 | 1,365,175 |
| 営業利益 | 638,271 | 483,804 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,919 | 5,241 |
| 受取配当金 | 90,408 | 92,754 |
| 為替差益 | 24,219 | 13,238 |
| その他 | 5,473 | 11,528 |
| 営業外収益合計 | 122,021 | 122,762 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,996 | 4,818 |
| その他 | 276 | 1,260 |
| 営業外費用合計 | 4,273 | 6,079 |
| 経常利益 | 756,019 | 600,488 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 2,535 |
| 特別利益合計 | - | 2,535 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,132 | 325 |
| 特別損失合計 | 2,132 | 325 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 753,887 | 602,697 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 190,494 | 159,763 |
| 法人税等調整額 | △1,764 | 347 |
| 法人税等合計 | 188,729 | 160,110 |
| 四半期純利益 | 565,157 | 442,587 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 34,975 | △4,978 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 530,182 | 447,565 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 565,157 | 442,587 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △480,622 | 290,784 |
| 為替換算調整勘定 | 432,947 | 301,991 |
| 退職給付に係る調整額 | △19,326 | △16,163 |
| その他の包括利益合計 | △67,001 | 576,612 |
| 四半期包括利益 | 498,155 | 1,019,199 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 421,140 | 992,855 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 77,015 | 26,343 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 753,887 | 602,697 |
| 減価償却費 | 291,799 | 310,661 |
| 長期前払費用償却額 | 141 | 149 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 1,950 | 67,821 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △21,103 | 7,617 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △5,560 | △8,060 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 16,384 | △14,253 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △5,427 | △5,372 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △36,381 | △71,472 |
| 受取利息及び受取配当金 | △92,328 | △97,995 |
| 支払利息 | 3,996 | 4,818 |
| 固定資産売却益 | - | △2,535 |
| 固定資産除却損 | 2,132 | 325 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △612,549 | △619,502 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △65,234 | △96,185 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 501,115 | 317,399 |
| 退職給付に係る調整累計額の増減額 (△は減少) | △27,858 | △23,298 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △45,746 | 47,356 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 134,602 | 187,266 |
| その他 | 21,162 | 22,257 |
| 小計 | 814,982 | 629,696 |
| 利息及び配当金の受取額 | 92,328 | 97,995 |
| 利息の支払額 | △4,337 | △5,574 |
| 法人税等の支払額 | △224,944 | △83,188 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 678,029 | 638,929 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △391,313 | △455,396 |
| 定期預金の払戻による収入 | 442,033 | 444,087 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △223,005 | △337,763 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | 2,988 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △69,252 | △66,361 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △9,727 | △10,429 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △251,264 | △422,874 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △3,000 | △12,996 |
| 配当金の支払額 | △93,240 | △88,800 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △4,370 | △2,749 |
| その他 | △3,129 | △4,483 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △103,740 | △109,030 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 191,693 | 138,933 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 514,716 | 245,958 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,593,733 | 7,726,270 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 8,108,449 | 7,972,228 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(債権の取立不能または取立遅延のおそれについて)

当社の連結子会社である㈱ネスコ（以下「ネスコ」）において、ネスコが納入した原材料を使用して製造した当該取引先の製品に不具合が発生したことを理由とする支払留保の通知があり、期日が経過しても売掛金が入金されない事態となりました。ネスコは製品不具合の詳細説明を求めるとともに、取引基本契約に基づき支払の履行を求める催告を行いましたが、該当の原材料のみならずすべての売掛金について支払がなされない状態が続き、取立不能または取立遅延のおそれが生じております。当第2四半期連結会計期間末の売掛債権残高381,755千円の取立不能または取立遅延のおそれのある対象債権の回収のためにネスコは当該取引先を相手とした訴訟を2022年12月に提起しました。現在も係争継続中ですが、引き続き当該取引先に対し支払義務の履行を求めています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|-----------|------------|-----------|---------|------------|------------|------------|
| | 重包装袋 | フィルム 製品 | コンテナ | 不動産賃貸 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 6,967,043 | 2,031,967 | 1,248,705 | - | 10,247,716 | 1,359,519 | 11,607,236 |
| その他の収益 | - | - | - | 127,532 | 127,532 | - | 127,532 |
| 外部顧客に対する売上高 | 6,967,043 | 2,031,967 | 1,248,705 | 127,532 | 10,375,249 | 1,359,519 | 11,734,768 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 6,967,043 | 2,031,967 | 1,248,705 | 127,532 | 10,375,249 | 1,359,519 | 11,734,768 |
| セグメント利益 | 640,693 | 10,249 | 18,234 | 80,708 | 749,886 | 93,383 | 843,270 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 749,886 |
| 「その他」の区分の利益 | 93,383 |
| 全社費用(注) | △204,998 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 638,271 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|-----------|------------|-----------|---------|------------|------------|------------|
| | 重包装袋 | フィルム 製品 | コンテナ | 不動産賃貸 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 6,980,230 | 1,868,338 | 1,300,065 | - | 10,148,635 | 723,700 | 10,872,336 |
| その他の収益 | - | - | - | 111,621 | 111,621 | - | 111,621 |
| 外部顧客に対する売上高 | 6,980,230 | 1,868,338 | 1,300,065 | 111,621 | 10,260,257 | 723,700 | 10,983,958 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 6,980,230 | 1,868,338 | 1,300,065 | 111,621 | 10,260,257 | 723,700 | 10,983,958 |
| セグメント利益 | 555,909 | 33,218 | 12,044 | 63,479 | 664,651 | 39,881 | 704,532 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 664,651 |
| 「その他」の区分の利益 | 39,881 |
| 全社費用(注) | △220,727 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 483,804 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。